

やまもり通信 4

vol.68

新年度がスタート。
春の陽気で気分も上がります。



【加子母の風景】木曾谷稲荷の夕初午。春のひんやりした夕暮れの空気が美しい。



やまもり
yamamori

ちかくのいいもん
関西のお店

彩都やまもり
無垢の木の積み木・湯の玉

前回の「東濃ひのき かんなくず」に続き、今回は「東濃ひのき 積み木」と「木曾ひのき風呂 湯の玉」をご紹介します。

「東濃ひのき」のふるさと加子母（かしも）は日本のまん中、岐阜県中津川市にあります。東濃ひのきや木曾ひのきはすぐれた木材として神社仏閣や住宅などの建築に使われていますが、その香気成分ヒノキチオールは神経を鎮める働きや殺菌効果があると言われています。木曾ひのきを丸く削り出した「湯の玉」はお風呂に浮かべる事でリラックスでき、森林浴気分をご家庭で手軽に味わうことができます。



「東濃ひのき 積み木」はお子様に無垢のひのきの持つ暖かさや肌触りを感じとっていただくためあえて塗装はせずに白木のままとなっています。なかでも円筒形のものは枝ぶりをいかして味わいがあります。すべての積み木の角は丁寧に削られていて優しい手触りとなっています。

製造元：かしも木っ端市

彩都やまもり
大阪府箕面市彩都栗生南1丁目17-26 TEL:072-739-6046
営業時間：9:00～17:00 定休日：毎週火曜日

ふるさとから こんにちは
山崎のお店

ショッピングプラザ アトラ

いらっしやいませ！
中津川市加子母のショッピングプラザ「アトラ」店長の梅田です。お客様にご満足いただけるよう毎日加子母でがんばっています。やまもり通信さんには確か3度目の登場です。いつもありがとうございます。



当店は飛騨牛などの精肉、地元の新鮮野菜などのコーナーも充実していますが、なにより関西の皆さまには当店オリジナルの加子母名物「けいちゃん」をおすすめしたいと思います。実はこれ私の味付けなんです。(笑)醤油味でさっぱりした味付けの「あっさりけいちゃん」とパンチの効いた味噌味の「加子母っ子けいちゃん」。どちらもたっぷりのキャベツと一緒にジュージュー焼いて唐辛子をかけて食べるとご飯がすすみますよ。大阪の彩都やまもりでも扱っていますのでぜひご利用ください。



ショッピングプラザアトラ■スーパー生鮮館
岐阜県中津川市加子母4944番地
TEL:0573-79-3737 FAX:0573-79-3738
定休日：第3木曜日(変更になることがあります)

彩都やまもり
ふとろと日記

春のおとずれ

3/17(水)～3/31(水)の期間中、彩都やまもりギャラリーにて「アトリエはらっぱ」の生徒さんたちによる作品展を開催しました。今回は桜の絵の展示とともに、「春」をテーマにした絵手紙を壁にちりばめ、桜が咲いているような演出をしたり、こどもたちによる「夢のお部屋」を高層マンションに見立てて組み立てたりと、演出にもかなりこだわられていました！そのおかげで一気に春らしさを感じられる空間になり、またアイデア豊富なこどもたちの作品に囲まれてギャラリー内がとても明るくなりました。

ご覧になった方々もすてきな作品を見て笑顔があふれていたり、こどもたちのアイデアにとっても驚かれていました。今回見られなかった方もまた機会がありましたらぜひご覧にいらしてくださいね！笑顔になれたり元気になること間違いなしです！



OKB FARM ハンドソープ
OKB農場で大切に育てたカモミールの花から抽出したカミツレ花エキスを配合した「OKB FARM ハンドソープ」。心やすらぐ香りと濃密な泡がやさしく手肌をつつみます。是非一度、お試しください。

【販売：株式会社 土里夢ファーム(OKB農場)】

OKB 大垣共立銀行

「岐阜の陶磁器 美濃焼に触れる」を案内します。

【期間】4月1日(木)～5月31日(月)

みなさんは「美濃焼」をご存じですか？
美濃焼とは、岐阜県東部の東濃地方、多治見市、土岐市、瑞浪市と可児市の一部で作られる陶磁器のことを指します。
「織部」やそれぞれの地で培われてきた色や形、様々な美濃焼に触れてみてください。



《彩都やまもり今月のイベント》

◆ 各イベント中止のお知らせ

先月に引き続き、今月もイベントはすべて中止させていただくことにいたします。今後の状況をみながら順次イベントを再開させていただきます。
イベント再開は彩都やまもりHPやfacebookでお知らせします。

【お問合せ】彩都やまもり(TEL:072-739-6046)

《焼き物豆知識》
「陶器」と「磁器」の違い

私たちの生活に欠かせない陶磁器＝「焼き物」。
大きくは「陶器」と「磁器」の2種類に分けられます。
実はこの違い、普段使いにはとても大切。
なぜなら、磁器は電子レンジに入れて温められますが、陶器は割れてしまうからです。
ということで、今回、磁器と陶器について違いをご紹介します。

- 陶器とは・・・土（粘土）をもとに作られていて「土もの」と呼ばれます。厚みがあり、土感の残る温かみある肌触りや風合いが魅力です。
- 磁器とは・・・石（陶石）をもとに作られていて「石もの」と呼ばれます。薄く手触りがなめらかで、洗練された印象があります。

◆ 彩都やまもり GW 中の営業について

モデルハウス及びギャラリーはGW期間中(4/29～5/5)も通常通り営業いたします。

※最新情報は随時、彩都やまもり HP
(<https://yamamori.site>) や
facebook でご確認ください。



やまもりHP



やまもりfacebook

●連合会及び大阪県人会合同総会&記念式典開催

令和3年度連合会及び大阪岐阜県人会の合同総会と昨年より延期になっておりました記念式典を下記のとおり2部制で行います。
詳細は、後日県人会会員の皆様宛に案内にてお知らせいたします。

【開催日】6月8日(火)
1部(総会):16時30分～17時30分
2部(記念式典):18時～20時
【会場】ホテルモントレ大阪

●大阪岐阜県人会120周年、関西岐阜県人会10周年特集号発行

この設立記念にあたり、3月19日(金)岐阜県庁にて、古田肇知事、寺岡龍彦大阪県人会会長、徳田昭憲関西県人会会長代行の3者対談を行いました。
テーマは「ふるさと岐阜の発展と活性化」です。
県政史上初となる5選を果たされた古田知事の抱負、県人会、連合会に寄せる思いなど今後の展望などをお聞きしました。
掲載は3月26日(金)で、岐阜新聞、中日新聞とも1ページ大です。
後日会員の皆様には掲載紙をお送り致します。

●神戸県人会活動予定

7月頃 定時総会
その他の活動計画は未定です。

●令和3年度関西県人連合会並びに大阪県人会活動計画予定

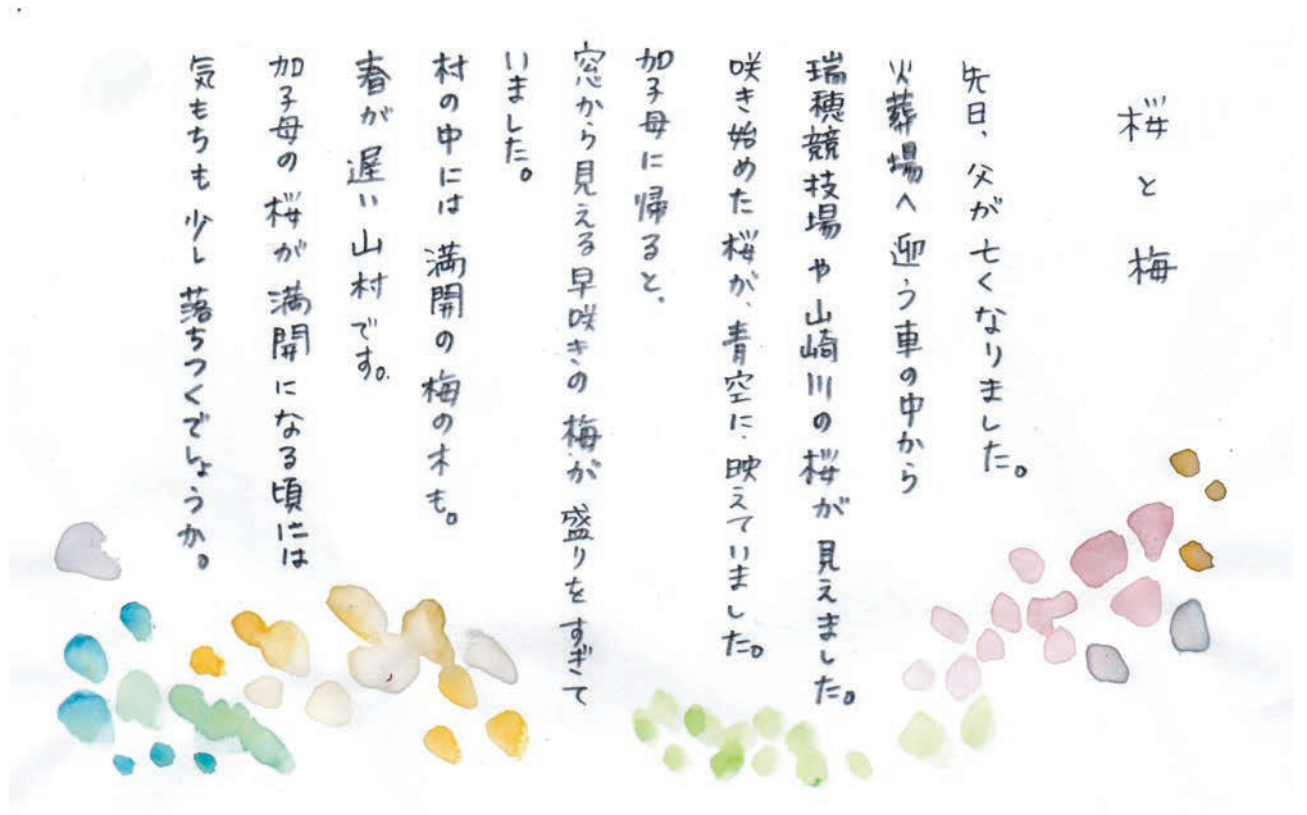
令和3年度(令和3年4月～令和4年3月)、関西連合会と大阪県人会では下記の活動を計画しています。
新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更・中止の可能性もありますが、なんとか感染防止対策を万全に施し計画通り活動していきたいと思っています。

- 6月 連合会及び大阪県人会合同定時総会
連合会10周年・大阪県人会120周年記念式典
- 8月 関西岐阜企業交流会(いちい会)定時交流会
- 9月 連合会主催「ふるさと紀行」
- 11月 連合会主催「岐阜ふるさと祭り」
- 2月 連合会及び大阪県人会合同新年会
- 3月 連合会主催「自治体訪問」

●京都県人会活動予定

- 4月 定時総会 ※役員のみで開催(18日)
- 6月 ぎふフェス@京都(郡上おどりin京都)→中止
その他、鴨川納涼などの活動は未定です。

本間希代子 絵描きイラストレーター 名古屋生まれ。加子母に移住して24年目。古楽器奏者の夫と娘と日々バタバタと加子母ライフを楽しんでいます。アトリエ玉手箱 <http://febakoj.jp>



加子母の人 山守日記3
第61回 特技は障子貼り

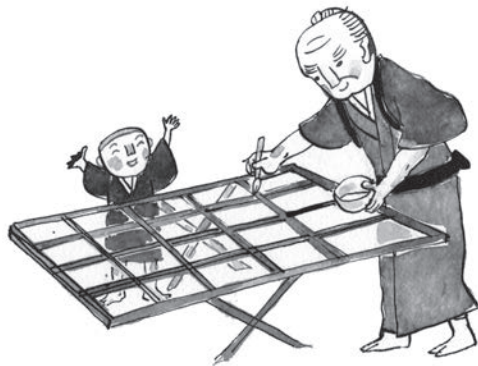
大変筆まめであった『御山守11代内木彦七』。たくさんの方の文書の作成や管理をしてきました。それに関連した特技は、なんと障子貼り！。どういふことか、早速『御山方御用井所持日記』の中身を見てみましょう。

●帳簿は手作り、糊も手作り

安永2年9月19日の日記には「今日糊序(のりついで)、障子式本張替申ナリ」とあります。糊序とは何でしょうか。

木曾材木方役所や村方との書類や帳簿のやりとりには、大量の紙が必要。一部の御用紙は名古屋の役所から支給を受けていましたが、多くは自前で購入していました。加子母村にも飛騨紙を取り扱っている人がいて、毎年正月10日に購入していました。内木家では正月11日に1年分の帳簿を仕立てる「帳面初め」という慣わしがありました。大変！

手紙もよく書きます。一枚の紙を横半分に切って端を糊で長くつなげた横切継紙が使われました。なんでも手作りです。糊は、自宅で作った小麦を石臼で挽いた粉に水を入れて煮詰めた正麴糊。とにかく糊は必需品で、帳簿の綴じ目に別紙



をかぶせて貼り、そこに印鑑を押して改ざんを防止する「かぶせ綴じ」なんていうのもありました。この日はせっかく作った糊が余ってしまったようで「障子貼り」をした、ということ。

●貼り替えにいいそと

彦七は一家中から障子をはりを頼まれるといそいそ出かけて行きました。ある時は、次男武助の分家へ障子貼りにいき、2本張替え2本修繕して入廻と薯よ汁をご馳走になりました。翌日も朝から行つて続きをしていると、別の家の孫から障子2本分貼り替えを頼まれてやつてあげます。几帳面で厳格な印象の彦七が孫に頼まれてせっせと貼り替えている様子はなんとも微笑ましく、現代とちつとも変わらない人間性を感じられます。

【文責 本間】

参考文献・・・山村の人・家・つきあい―江戸時代の暮らし― 太田尚宏著 徳川林政史研究所発行

